

## 中頓別・黄金湯が来月開設の「コミレス」

【中頓別】町内の公衆浴場・黄金湯(渡辺由起子さん経営)が4月に開設予定のコミユニティ・イエレストラン(地域食堂、コミレス)についての第1回運営協議会が6日、町役場で開かれ、店名を「コミレスかふえ・トントン」に決めた。

出席者は、コミレス開設に補助金を出している町から2人、町内の農業体験施設アグリパークの吉田征弘館長、コミレス運営や利用に関心のある町民3人、非常勤で料理を出す予定の名寄のレストラン「おると」の古屋敏浩シェフの9人。

店名は、地元だけでなく茨城県や札幌などから71通の応募があり、親しみやすさなどから「トントン」を選んだ。中頓別の「ト

## 店名は「かふえ・トントン」

## 応募71通 初の運営協で決定



んと包丁を使う時の「トント

ン」という音を掛けた。

このほか、コミレスのあり方として「単に、他の飲食店と競合する食事提供の場ではなく、交流や情報交換の場というイメージを前面に出したほうが良い」などの意見が上がった。

また、非常勤で料理の腕を振るうワンデイシェフについては、年会費千円を負担するが純益の8割を報酬とするなどのルールを決めた。ランチ提供は仮オープン期間の4～7月は週3日、7月の本格オープン以降は定休日の木曜以外毎日とし、コーヒードリンク、お菓子なども出す。

開業日は4月12日で、大々的にオープンイベントを開くことも決めた。運営協議会は初年度は年4回ほど開く予定。

(太田一郎)

コミレスのあり方などを話し合った運営協議会